

■ 地域住民・関係機関の協力による漁業体験活動

★活動に関連する目指す子ども像



「意欲的に学ぶことができる子ども」

「良い行為を尊び、進んでみんなのために尽くすことができる子ども」

□ 活動の概要



本校における総合的な学習の時間の目標である「地域の環境（ひと・もの・こと）に課題をもつ」の実現に向けて、地域の産業の1つである漁業を通して、地域の方の思いを知り、地域への誇りと愛着を養うことをねらいとして、第3～6学年の総合的な学習の時間に漁業体験活動を行っています。

□ 活動の具体

- ・ 第3～6学年の総合的な学習の時間では、単元「乙部町の漁業（スケソウダラ）」の体験学習として、地元の魚の水揚げの見学や、地域の方への漁業についてのインタビュー活動を行っています。
- ・ 水揚げされた魚について、地域の漁業士等の協力を得ながら調理することを通して、郷土の伝統を受け継ぎ、ふるさとへの愛着を養う活動を行っています。

□ 教育課程上の工夫

- ・ へき地・小規模校の特色を生かし、4つの学年が同じ時期に漁業体験などの体験活動を位置付けた指導計画を作成し、系統立てた学習となるよう工夫しています。
- ・ 第3学年と第5学年では、社会科で関連する単元と並行して学習を進めることにより、内容が充実するよう年間指導計画の配列を工夫しています。